

## ロゼッタネットジャパン (RNJ) 代表からのメッセージ

早いものでロゼッタネットジャパンも発足して4年が経過いたしました。最初の2年はロゼッタネットの日本への導入、私が代表をお引き受けした後半の2年はOMJ (Order Management in Japan) WGを中心にロゼッタネット実装の加速を行ってまいりました。

その結果、約1500のプロセスを約300社間で達成するまでになりました。

世の中はデジタル家電全盛の中、製品のライフはますます短くなってきており、在庫の圧縮や需要予測の精度向上などが更に求められてきております。

これらの課題を解決するためにはサプライチェーンマネジメント (SCM) が必須であり、ITを駆使してできるだけ早く正確な情報のやり取りが必要になってきています。

リアルタイムにXMLで情報交換を行う世界標準のロゼッタネットはSCMのツールとして重要な位置にあると考えます。

日本を中心としたアジアは物づくりの中心であり、日本でのロゼッタネット実装を加速することはアジアに対して大きな影響を与えるとともに、ますますグローバル化する取引をリアルタイムで達成することができるようになり、私の所属するソニーにとっても、ロゼッタネットジャパンに参加する企業にとっても大きなメリットが享受できます。

量産購買のSCMからスタートした日本でのロゼッタネット実装はEDI-VANに変わる新しいツールとして定着しようとしています。

しかしながら、ロゼッタネットの対応範囲は更に広がってきております。1つは更に上流の新部品情報、納入仕様書、環境情報のやりとりなどに使われ始めております。もう1つは国を越えた取引やクロスボーダーなVMIなどで、これは中国との取引を視野にいれて検討が開始されております。

この少冊子には各社の取り組みなどの紹介も入っており、これからロゼッタネットを検討される企業様には参考になることが多いと思います。

最後に、理想的なサプライチェーン実現のためにロゼッタネットジャパンは皆様のお役に立てると確信しております。



ロゼッタネットジャパン代表  
ソニー株式会社 業務執行役員常務  
田谷善宏